



週報

カトリック 園田教会

A年

2014年
4月6日(日)

No. 1894



4月6日(日) 四旬節第5主日

ミサ 9:00 ショヴァン二神父

四旬節愛の献金

今日の聖歌と祈り

- 入祭の歌 : 典礼聖歌 65 神は わたしを救われる
あわれみの賛歌 : プリント あわれみの賛歌 (プリント 主の祈り 裏面)
答唱詩編 : 「聖書と典礼」をご覧ください
詠 唱 : 「聖書と典礼」をご覧ください
奉納の歌 : 典礼聖歌 395 主よ わたしが悩む時
主の祈り : プリント 主の祈り
拝領の歌 : プリント 主の恵みにいま
皆で唱える祈り : プリント 司祭の召命を求める祈り
閉祭の歌 : プリント カルワリオの (カトリック聖歌174番)

今日の典礼奉仕者

先唱	武永
聖体奉仕	田口
第1朗読者	真鍋
第2朗読者	畠山
共同祈願・意向担当者	①池田(壮) ②平田 ③市瀬 ④木下(菁)
奉納と献金	壮年会
典礼当番	畠山、細木
答唱詩編	全員
オルガン奉仕者	石垣

今日の行事・他

- ・定例評議会
- ・日曜学校 中高生会 はありません。(春休み)
- ・サン・ジュゼッペ聖歌隊練習(ミサ後)

お知らせ

- ・ 4月12日(土)10時半から、枝切り(枝の主日用)をいたします。
ご協力、よろしくおねがいいたします。

【洗礼のしるしとしての水】

洗礼のときには、水がしるして用いられます。水は人間の日常生活と生命維持のために不可欠なものです。水はまた、体の汚れを清めるためにも用いられます。日本文化の伝統の中でも、水は心身をきよめるために用いられてきました。このように洗礼は、「いのち」「清め」というイメージと結びつけることもできますが、秘跡としての洗礼は単なる「いのち」や「清め」ということばでは到底いい尽くすことのできない豊かな神の恵みをもたらす秘跡です。

【洗礼の前表とキリストの洗礼】

旧約時代に起こったノアの洪水は、洗礼による救いを示すしるしでした。とくに、イスラエル人が紅海を渡ってエジプトから解放されたことは、洗礼による救いの前表となりました。

時が満ちてイエス・キリストは宣教活動を開始するに当たり、先ず洗礼者ヨハネから洗礼を受けました。そのとき聖霊がキリストの上に降り、新しい創造の時が到来したことをあかししました。

キリストはまた受難を自分の受けるべき洗礼とも言っておられました。十字架に上げられたこのキリストのわきから流れ出た血と水は新しいいのちの秘跡である洗礼と聖体を象徴しているといわれます。キリストはその死と復活により、洗礼を通して、わたしたちに復活の新しいいのちをもたらしました。

〔「カトリック教会の教え」(カトリック中央協議会発行)
283～4ページから〕

*「洗礼」というギリシャ語は、もともと水中に沈められることを意味する語で、転じて苦しみの中に沈められることを意味する。



今週の暦

4月 7 日(月) 集会祭儀 6:30～

4月 8 日(火) ミサ 6:30～ ジョヴァンニ神父

4月 9 日(水) ミサ 6:30～ ジョヴァンニ神父

4月10日(木) ミサ 6:30～ ジョヴァンニ神父

4月11日(金) ミサ・十字架の道行 19:00～ ジョヴァンニ神父

4月12日(土) ミサ 6:30～ ジョヴァンニ神父

- ・入門講座(休講)
- ・教会清掃:婦人会(総務)・第2週
- ・枝切り(枝の主日用)→ 10:30～
- ・パウロ家族100周年記念講演会(サクラファミリア 14

「教区 地区養成チーム代表者会議」

4月13日(日) 受難の主日(枝の主日) 「世界青年の日」

ミサ 9:00 ボナツィ神父

四旬節愛の献金

- ・日曜学校(信仰教育)
- ・シモン会
- ・百合学院バザー焼き鳥実行委員会打合せ(ミサ後)
- ・サン・ジュゼッペ聖歌隊練習(ミサ後)

